

視線計測装置

視線計測装置は、ユーザーが見ている対象や、対象物を見ている時間の長さ、視線の推移などの視線の情報を取得できる装置です。心理学・医学・工学などの学術目的以外にも、製品の操作画面などのユーザビリティ評価や、マーケティング調査、デザイン評価、技能伝承など幅広い分野、用途に使用されています。

都産技研では、ディスプレイを見るユーザーの視線を捉える「非接触型」に加え、新たに眼鏡型の装置を身につける「装着型」のご利用が可能になりました。



NEW!

装着型視線計測装置

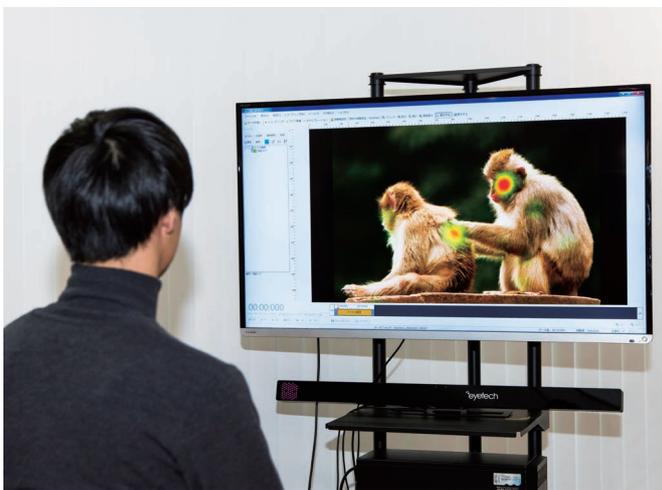


非接触型視線計測装置



画面を見るだけで簡単に計測可能

非接触型視線計測装置は、ユーザーが装置を身につけることなく、ディスプレイ画面上のどこに注視点があるかを計測できる装置です。画面を見るだけなので、簡単に計測ができます。視線の動きや停留回数、時間など、複数の解析を行えるため、ポスターやチラシ、パッケージのデザイン評価や視認性評価などに利用できます。



活用事例

視線停留のヒートマップ

眼鏡型のハードウェアを装着することで、動きながらも視線の動きや停留回数、時間などが計測できます。計測後は専用のソフトウェアによる高度な解析が行えます。視線の動きをヒートマップにして視覚化すれば、ユーザーがどの部分に注目していたかがわかります。



ヒートマップ

SPEC & PRICE

主な仕様

非接触型視線計測装置	
型式	QG-PLUS XL (株) デテクト製
画面サイズ	最大 50 インチ
装着型視線計測装置	
型式	Tobii Pro Glasses 2 トビー・テクノロジー (株) 製
受信方式	ワイヤレス

機器利用料金表

機器利用項目	中小企業	一般
視線計測装置 [1 件 1 時間につき]	843 円	1,501 円
機器利用指導料	1,110 円	2,221 円

お問い合わせ | デザイン技術グループ〈本部〉 | TEL 03-5530-2180